

## ● 最近の県内経済

### 基調判断

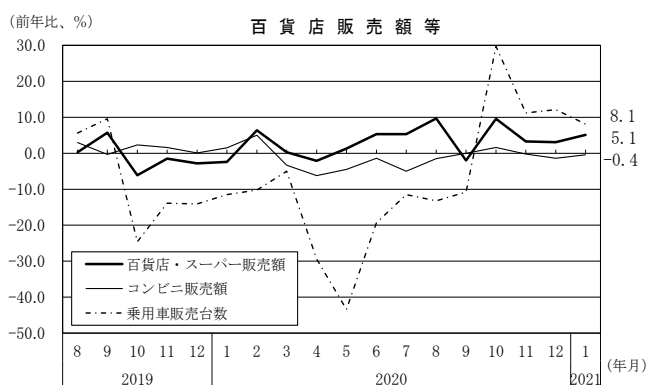
(2021年1月を中心として)



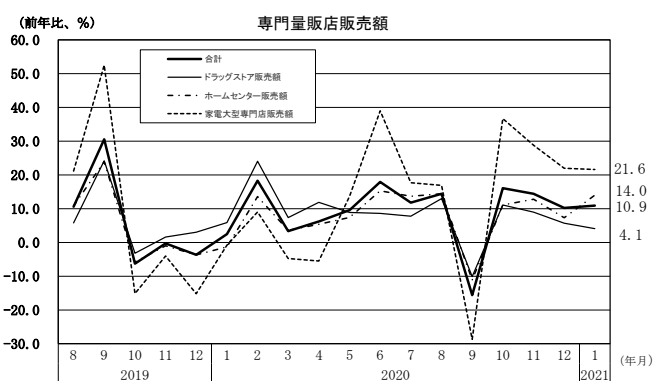
### 今月の概要

県内景気は、新型コロナウイルス感染症による経済への影響から、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部に弱さがみられる。

## 1 個人消費 持ち直しの動きがみられるものの、このところ弱含んでいる



(資料) 経済産業省、埼玉県自動車販売協会など



(資料) 経済産業省

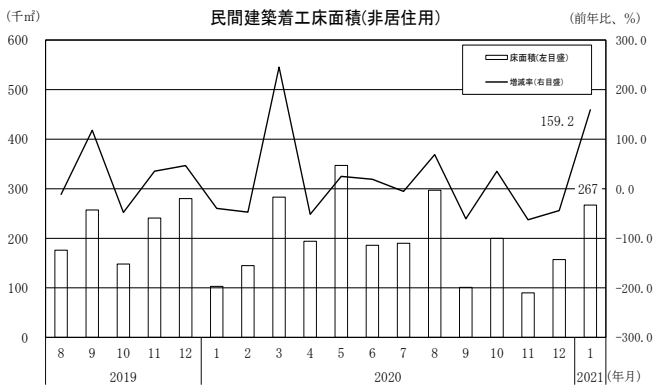
1月の百貨店・スーパー販売額（店舗調整前）は、1,079億円で前年比5.1%増となった。百貨店は124億円で同19.6%減、コンビニ販売も509億円で同0.4%減と、ともに3か月連続の減少となった。一方、スーパーは954億円で、同9.7%増と12か月連続増加した。

乗用車販売は、前年比8.1%増と4か月連続の増加となった。内訳をみると、小型車（同1.8%減）は3か月連続の減少となったものの、普通車（同12.3%増）、軽乗用車（同12.1%増）は増加した。

1月の専門量販店販売額は、748億円で前年比10.9%増となった。内訳をみると、家電大型専門店が214億円で同21.6%増、ドラッグストアが364億円で同4.1%増、ホームセンターが170億円で同14.0%増となった。

関東の消費者態度指数（原数値）は、12月〈31.8〉、1月〈29.6〉、2月〈33.4〉で推移している。

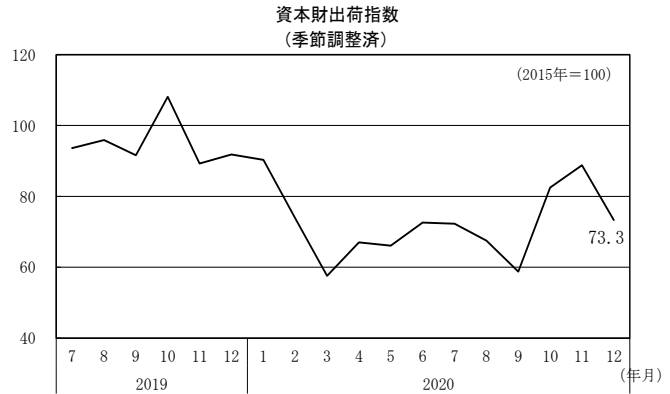
## 2 設備投資 下げ止まっている



(資料)国土交通省

1月の民間建築着工床面積(非居住用)は、267千㎡で前年比159.2%増となった(5か月後方移動平均では前年比20.8%減)。

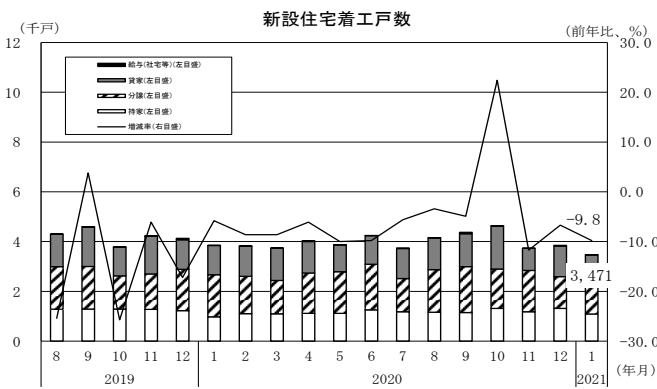
用途別にみると、事務所、病院・診療所は減少したものの、店舗、工場及び作業場、倉庫はいずれも増加した。



(資料)埼玉県

12月の資本財出荷指数(季節調整済)は、73.3で前月比17.5%の減少となった(3か月ぶりの減少)。

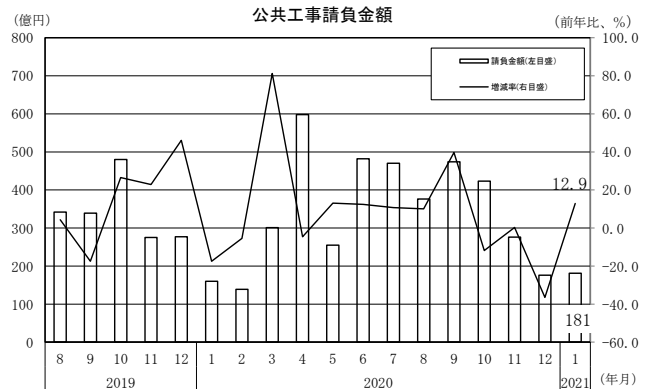
## 3 住宅建設 下げ止まっている



(資料)国土交通省

1月の新設住宅着工戸数は、3,471戸で前年比9.8%減と3か月連続の減少となった(5か月後方移動平均では、2.6%減)。利用関係別にみると、持家(1,094)が同11.6%増となった一方、貸家(1,098戸)が同6.3%減、分譲マンション(289戸)が同47.2%減、分譲一戸建(978戸)が同11.9%減となった。

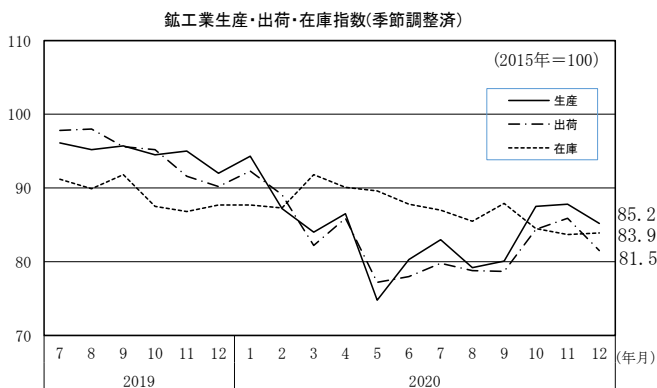
## 4 公共工事 増加基調



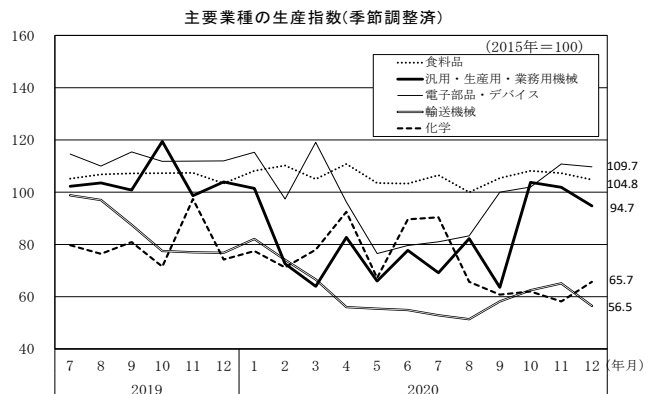
(資料)東日本建設業保証株式会社

1月の公共工事請負額は、181億円で前年比12.9%増となった(5か月後方移動平均では前年比0.1%減)。発注者別でみると、独立行政法人は減少したものの、国、都道府県、市区町村のいずれも増加した。

## 5 生産活動 持ち直している



(資料)埼玉県



(資料)埼玉県

12月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、85.2で前月比3.0%低下(4か月ぶりの低下)。業務用機械(パチンコ、試験機)、化学工業(医薬品、化粧品)などは上昇したが、生産用機械(フラットパネル・ディスプレイ製造装置、半導体製造装置)、情報通信機械(カーナビゲーション、カーオーディオ)などが低下した。

出荷指数(同)は、81.5で同5.1%低下(3か月ぶりの低下)。業務用機械(パチンコ、試験機)、化学工業(化粧品、医薬品)などは上昇したが、生産用機械(半導体製造装置、フラットパネル・ディスプレイ製造装置)、情報通信機械(カーナビゲーション、カーオーディオ)などが低下した

在庫指数(同)は、83.9で同0.2%上昇した(3か月ぶりの上昇)。プラスチック製品(プラスチック製容器、発泡プラスチック製品)、非鉄金属(伸銅製品、電力用電線ケーブル)などが低下したが、生産用機械(刈込機、マシニングセンタ)、輸送機械(乗用車、普通トラック)などが上昇した。

◆ 食料品の生産指数(季節調整済)は、104.8で前月比2.3%低下し、2カ月連続の低下となった。

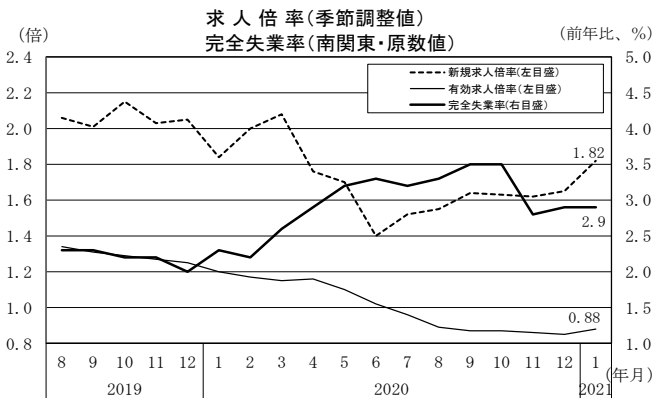
◆ 汎用・生産用・業務用機械(同)は、94.7で同7.0%低下し、2カ月連続の低下となった。

◆ 電子部品・デバイス(同)は109.7で同1.0%低下し、7か月ぶりの低下となった。

◆ 輸送機械(同)は、56.5で同13.2%低下し、4か月ぶりの低下となった。

◆ 化学(同)は、65.7で同12.9%上昇し、2か月ぶりの上昇となった。

## 6 雇用情勢 弱い動き

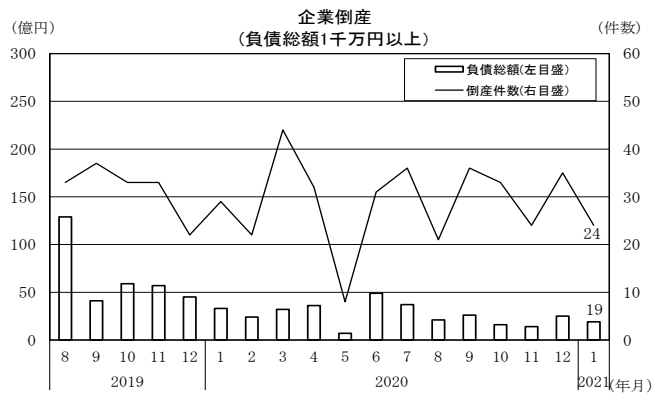


(資料)厚生労働省、総務省

1月の有効求人倍率(季節調整値)は、0.88倍で前月比0.03ポイント上昇(9か月ぶりの上昇)となったものの、依然として7か月連続で1倍を下回っている。新規求人倍率(同)は、1.82倍で同比0.17ポイント上昇(2か月連続の上昇)した。

完全失業率(南関東、原数値)は、2.9%で前年同月比0.6ポイント上昇した。(前年同月比12か月連続の上昇)

## 7 企業倒産 一進一退



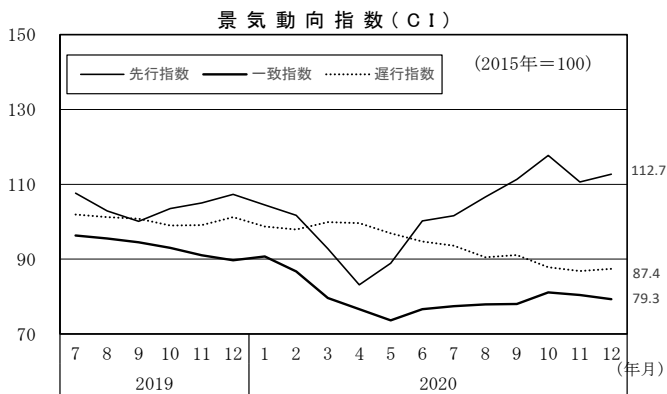
(資料)帝国データバンク

1月の企業倒産件数は、24件で前年同月比5件の減少となった。負債総額は19億円で同14億円の減少となった(5か月後方移動平均では、件数は前年比1.3%減、金額は57.4%減)。

業種別にみると、建設業が8件で最も多く、次いでサービスが6件、卸売業が4件と続いている。主因別では、販売不振が19件となっている。

### 〈参考〉

#### 景気動向指数(CI) 下げ止まりを示している



(資料)埼玉県

12月のCI一致指数(景気の現状を示す)は、79.3で前月比1.1ポイント低下し、2か月連続の低下となった。

CI先行指数(景気の数か月先を示す)は、112.7で同2.1ポイント上昇し、2か月ぶりの上昇となった。

CI遅行指数(景気に遅れて反応する)は、87.4で同0.6ポイント上昇し、3か月ぶりの上昇となった。